

コンベンション施設の整備

公明党 志賀谷 隆

質問 5000人規模のコンベンション施設であれば、整備しないほうがいいのではないかと。また、経済界は反対と言っているが、どう感じるか。

答弁 コンベンションは、地域経済に大きな効果をもたらすものであり、その開催誘致には、これまで以上に取り組んでいく必要がある。施設整備にあたっては、当市における開催状況から5000人規模が適切ではないかと考えているが、経済界や関係団体等から幅広い意見を聞きながら、検討していきたい。(市長)

近隣市町村との合併

新生クラブ 佐古 一夫

質問 北海道新幹線の開業を見据え、道南圏で大同合併して大函館市を目指していくべきと考えるがどうか。

答弁 新幹線時代の到来を契機として、広域的なまちづくりを進めていくことは大事なことであり、また、効率的な行政運営や自治体の体制強化を図るためには合併も有効な手段と考えるが、合併新法の支援措置期限が平成22年末となっていることから、今後の国の動向を見極めながら、慎重に対応しなければならぬと考えている。(市長)

ゴライアスクレーンの解体

市民クラブ 本間 新

質問 ゴライアスクレーンは、港の景観として、また、当市の造船史上価値があると考えるが、クレーンを取り壊すことについての感想を聞きたい。

答弁 ゴライアスクレーンは、完成後現在まで約30年間存在しており、その景観に対する思いはあるが、函館どつくの産業施策も含めて、危険性や将来への負担など総合的に判断すると解体撤去はやむを得ないと考える。今後においては、クレーンにかかわる資料の保存等について検討していきたい。(市長・港湾発港部長)

離職者への相談窓口の開設

日本共産党 紺谷 克孝

質問 職業安定法の改正の趣旨を踏まえ、離職者に対する総合相談窓口を開設すべきではないか。

答弁 現在、市では開設していないが、今後、道と労働局の間で、住居の確保や生活支援、職業能力開発に関する相談窓口の機能を持つ「求職者総合支援センター」の実施に関する協議が整い次第、市としても取り組みを進めたい。なお、職業紹介事業は、これまで同様、公共職業安定所が一元的に取り扱うことが適当と考えている。(市長)

人口減少下のまちづくり

民主・市民ネット 見付 宗弥

質問 人口減少下のまちづくりにあたり、新たな中心市街地活性化基本計画の策定スケジュールはどうなるのか。

答弁 新たな基本計画の対象区域には、本町・五稜郭地区を含める方向で整理しようとしているが、具体的な区域の設定など調査を要するものもあり、それらの精査を行った上で関係団体とも協議を進めていくこととなる。このため、現段階で策定スケジュールを示すことは難しいが、できる限り早期のとりまとめを行いたい。(都市建設部長)

五稜郭商店街の活性化策

日本共産党 丸尾 隆子

質問 五稜郭商店街支援のために、無料バスの運行等を考えているようだが、その実施予定内容について伺いたい。

答弁 本市の商店街を取り巻く状況は、大変厳しいものとなっており、商工会議所や地域の商店街と連携し、商店街への集客を図るため、本町・五稜郭地区商店街と駅前・大門地区商店街を対象とした活性化策を検討している。

具体的な事業内容は、無料バスの運行や商店街での特売などを考えており、積極的に支援していきたい。(市長)

地産地消の推進と農業活性化

民主・市民ネット 小山 直子

質問 地産地消の推進が農業者の生活安定、後継者不足の解消につながると考えるが、各種イベントを活用し、地産地消をさらに進めてはどうか。

答弁 地産地消は生産者と消費者の距離が近く、旬なものを新鮮なうちに食べることができるほか、消費者は生産者の顔が見える安心感があり、生産者も地域の消費者ニーズを的確にとらえ生産に生かせるメリットがあるため、各種イベントの活用や直売所のPRなどにより、その普及拡大に努めていきたい。(市長)

多重債務者支援と自殺対策

公明党 松宮 健治

質問 「くらし支援室」の具体的な業務内容を聞きたい。また、多重債務者の自殺対策をどのように講じていくか。

答弁 「くらし支援室」の業務は、相談者の状況を十分聞き、弁護士等の専門機関への同行や引き継ぎ等を行うほか、支援室みずからも解決に向けて取り組むこととしている。支援室において多重債務者の生活再建に努めるとともに、自殺予防の様々な相談窓口の周知などを行うことが、結果的に自殺予防につながるものと考えている。(市長・市民部長)

ジェネリック医薬品の利用

新生クラブ 浜野 幸子

質問 ジェネリック医薬品の利用促進のため、具体的にどのようなことを考えているのか。

答弁 ジェネリック医薬品の利用促進は、医療費の削減や適正化、被保険者の医療費負担の節減にもつながるものと考えており、今後とも市民への周知に努め、受診者が医療機関等で意思表示しやすいよう「ジェネリック医薬品希望カード」を国保の全世帯に配付するほか、より実効性のある取り組みについて調査研究を進めたい。(市民部長)

市民体育館あり方検討懇話会

市民クラブ 小野沢 猛史

質問 懇話会の検討結果が建て替えすべきとなった場合、どう対応するのか。また、懇話会の意見を尊重するのか。

答弁 懇話会の検討結果は、諮問・答申という形ではないため、各専門家の意見を列記し、資料とともに提出されると考えるが、その時点で市の方向性は、議会とも相談しながら決めていきたい。また、懇話会意見の尊重については、市長になったときの市民との公約の経過もあるが、改めて議会に相談しながら決めていきたい。(市長)